

北見工業大学国際交流センター ニュースレター

第 102 巻 2014 年 12 月・2015 年 1 月



インターナショナル C アワー 折り紙

12 月 2 日 (火) 総合研究棟 6 階ミーティングルーム 2

12 月 2 日 (火) に、インターナショナル C アワー「折り紙」が開催された。マテリアル工学専攻の印藤祐一さんを講師にお招きし、薔薇や翼が上下に動く鶴など、難易度の高い折り紙にも挑戦した。途中で折り方が分からなくなり、行き詰まっている留学生の姿も見受けられたが、講師の印藤さんや市民の方々のサポートもあり、各々の作品を完成させた。

最後には、参加者全員が作成した作品を並べ、投票を行った。鶴や、飾り箱、犬、ペンギンなど、様々な作品が机の上に並び、投票をしながら、作品を楽しんだ。ツォグゾルマさん (モンゴル) が作成した 24 面体が見事 1 位に輝き、上位 5 名には素敵な景品が贈られた。



【目次】

1. インターナショナル C アワー「折り紙」
2. 短期語学研修・留学報告会
3. ユース・オブ・ワールド 2014 冬
4. 国際大学生雪像彫刻大会

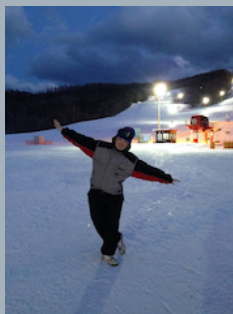


5. インターナショナル C アワー「餅つき」
6. 外国人留学生スキー研修
7. 北見市国際交流カーリング大会





ユース・オブ・ワールド
2014 冬 写真館



2014 年度短期語学研修・留学報告会

12 月 16 日 (火) 講堂

12 月 16 日 (火) の総合工学の授業にて、今年も短期語学研修・留学報告会が行われた。冒頭に、国際交流センターの許斐ナタリーセンター長より、本学の協定校および留学時期・費用などに関する説明があった。その後、研修に参加した日本人学生より、台湾研修、ドイツ研修、オーストラリア研修の順に、短期語学研修中の授業や課外活動の様子、食べ物の味、近隣地域への旅行などについて、各国特色ある発表が行われた。続いて、ポーランドおよびアメリカに、それぞれ 1 年間留学した学生 2 名から、留学先の大学での勉学や生活の様子について報告があった。授業スタイルや、日本人との考え方の違いなど、留学したからこそ分かったことがたくさんあったようだ。最後には、会場から多くの質問が寄せられた。この報告会をきっかけに、今後海外に旅立つ学生が更に増えることを期待して止まない。

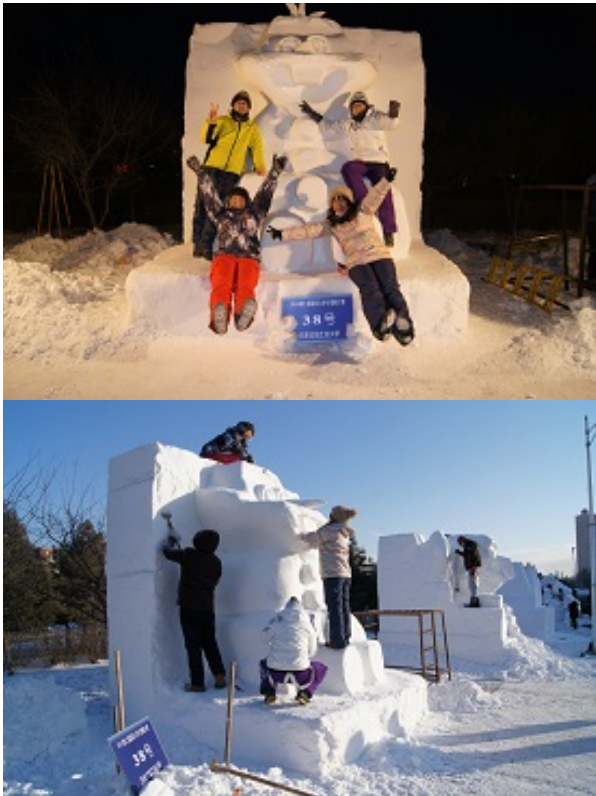


ユース・オブ・ワールド 2014 冬

12 月 21 日 (日) ~23 日 (火) 国立日高青少年自然の家

8 月 10 日 (日) から 12 日 (火) に国立大雪青少年交流の家で開催された第 1 回目に続き、国立日高青少年自然の家で、2 回目の「ユース・オブ・ワールド 2014 冬」が開催され、本学の留学生 5 名が参加した。2 回目の今回は、和太鼓やアイヌ文化博物館見学、スキー、スノーキャンドル、各国のプレゼンテーションなど、「地域の伝統文化」「自然との共生」「多文化交流」「国際理解・協調」に関する 7 つの活動 (Global Action) に、日本人の高校生、大学生、社会人らと共に参加した。参加者たちは、様々な活動の中で、協同や議論を行うことで、お互いを深く理解し、思いやる心を育めたようである。





国際大学生雪像彫刻大会

1月4日(日)～7日(水) ハルビン工程大学

1月4日(日)から7日(水)にかけて、協定校である中国のハルビン工程大学で開催された雪像大会に、本学から3名の日本人学生が参加した。中国および海外の大学から全69チームが参加した本大会で、北見工業大学チームは、『アナと雪の女王』でおなじみの雪だるまのオラフ(Olaf)を作成した。日中でもマイナス20度という突き刺すような寒さの中、巨大な雪像を3日間かけて作り上げた。出来上がった可愛いオラフの表情とは対照的に、極寒の地での作業は過酷を極めるものであったようだ。しかし、ボランティアの方々や、以前本学に留学していた中国人学生たちの助けもあり、素晴らしい作品に仕上がった。参加した学生たちは、協力して1つのことを成し遂げることの素晴らしさや、雪像を通して交流した現地の方々との思い出を胸に帰国した。

インターナショナルCアワー ～餅つき～

1月15日(木) 1号館ロビー



1月15日(木)に今年初めてのインターナショナルCアワーが開催された。1月ということで、毎年恒例の餅つきが行われた。講師の後山さんから、日本の年中行事である餅つきについて説明を伺った後、実際に、杵と臼を用いての餅つきを体験した。本学の留学生たちも、慣れない手つきで、杵を持ち、「よいしょー」というかけ声に合わせて、思い切り振り下ろしていた。餅つき初体験の留学生も多く、餅が出来上がる過程を興味深そうに見ていた。また、つきたての餅に、きなこ、あんこ、ごまを絡め、熱々のうちに頂いた。つきたての餅の美味しさに、参加者全員の表情が緩み、今年最初のインターナショナルCアワーも笑顔が溢れた素敵な会となった。





外国人留学生スキー研修

1 月 16 日 (金) ノーザンアークリゾートスキー場

北見市端野町のノーザンアークリゾートスキー場にて、外国人留学生スキー研修が行われた。留学生やチューターの学生 45 名が参加した。レベル別に 3 つのグループに分かれ、インストラクターの指導の下、スキーの基本技術を学んだ。参加者のうち約半数が初体験ということもあり、最初は、滑ることもままならず、一度滑り始めると今度は止まることに苦戦するという状態だったが、インストラクターの方の指導のおかげで、午後には、リフトに乗って、上から滑り降りることもできるようになっていた。雪をなかなか見ることができない国の留学生にとっては、貴重な経験となったようである。

北見市国際交流カーリング体験

1 月 25 日 (日) アドヴィックス常呂カーリングホール

北見市青少年国際交流事業実行委員会主催の「北見市国際交流カーリング体験」に、本学から 23 名の留学生が参加した。田村友朗委員長より開会のご挨拶を頂いた後、講師の方の指導の下、午前中は、ブラシの扱い方やストーン（石）の投げ方を学んだ。最初は、つるつる滑る氷の上を上手に歩くことができず、尻餅をつく留学生の姿があちこちで見受けられたが、練習の成果か、お昼頃には、カーリングの基本動作をマスターしていた。午後からは、留学生と市民混合の 8 チームで、トーナメント戦を行った。氷上のチェスと言われるだけあって、最後の一投まで勝負が分からないため、皆真剣にストーンの行方を見守っていた。昨年や一昨年にこのカーリング体験に参加したカーリング経験者たちは、勝負所で華麗な一投を決めるなど、大いに活躍してくれた。勝ったチームも負けたチームも、心地よい筋肉痛と達成感を感じたようだった。



【今後の予定】

2 月 4 日 (水)
留学生交流の夕べ [アトリウム]

2 月 7 日 (土)
第 4 回公開講座：国際理解講座
[第 1・第 2 会議室]

2 月 10 日 (火)
短期留学生修了式 [多目的講義室]

2 月 15 日 (日)・16 日 (月)
北方圏国際シンポジウム [紋別]

2 月 20 日 (金)
インターナショナル C アワー [講堂]

2 月 28 日 (土) ~ 3 月 23 日
中国語語学研修 [台湾]